岐阜新聞

2010年(平成22年)6月12日　土曜日

児童、測量作業を体験

大垣市の静里小　「測量の日」ちなみ記念行事

測量の日（6月3日）にちなんだ、県測量設計業協会（篠田徹会長）の記念行事として11日、大垣市久徳町の静里小学校で測量を体験する授業が行われた。（中村芳紀）

レーザー光で距離を測定する機器をのぞき込む児童＝大垣市久徳町、静里小学校

レーザー測定器に感心

同協会では毎年この時期に、地図や測量の重要さを知ってもらおうと、県内各地で記念行事を行っている。

この日は4年生63人が参加。国土地理院中部地方測量部の大澤里津さんが、地図ができるまでの過程などをスライドを使って説明。地図記号を当てるクイズもあった。

測量体験では、はじめに全員が10㍍にかかる歩数を数え、実際に縦20㍍、横30㍍の長方形を歩測する体験があった。またレーザー光で距離を測る機器が持ち込まれ、児童らは機器をのぞき込んで「(遠くの物が)大きく見える」などと驚いていた。

同協会から、1892（明治25）年と今年の2万5千分の1地図と、1948年と一昨年に同校周辺を撮影した航空写真の計4点が学校に贈られた。